

<b>経済政策論</b>		<b>講義</b>	<b>教授 大澤 秀一</b>	
<b>科目カテゴリー</b>	<b>スポーツマネジメントコースの専門 選択科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>11320206</b>	

### 1. 授業のねらい・概要

経済政策とは、政府や経済機関が経済の管理や制御を行うために採用する一連の戦略や措置です。これにより、経済成長の促進、インフレーションの抑制、物価の安定、雇用の創出などが図られます。授業では、財政政策、金融政策、労働政策、地域経済政策などの主要な経済政策を取り上げ、それぞれの政策が経済に与える影響や役割を探ります。さらに、政策の歴史的背景や足元で進行中の事例を通じて、理論と実践を結びつける力を養うことを目指します。

### 2. 授業の進め方

授業は講義形態で行い、理解度を確認する小テストを3回繰り返しながら概ね以下の内容に沿って進めます。

### 3. 授業計画

1. 授業の概要説明	9. 市民生活のための「社会福祉政策」
2. 経済成長のための「財政政策」	10. 第2回小テスト
3. 物価安定のための「金融政策」	11. 透明性と信頼性のための「企業統治と株式市場改革」
4. 効率向上のための「構造改革」	12. 「コロナ禍の経済政策」の振り返り
5. 第1回小テスト	13. 進行中の「石破政権の経済政策」
6. 競争力強化のための「産業政策」	14. 第3回小テスト
7. 経済活性化のための「地域経済政策」	15. 総まとめ
8. 労働市場健全化のための「労働政策」	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前配布されるデジタル資料を予習し、あらましを把握してから授業に臨んでください。授業内容の定着と論点整理のための復習も重要です。予習・復習に2時間以上かけて疑問点や不明点がなくなるまで学修してください。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各小テストの次の授業で出題の意図と解答のポイントを説明します。

### 6. 授業における学修の到達目標

日本経済の現状と課題を理解し、それらに対応する政策について自分なりの意見を持ち説明することができることを目指します。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取組姿勢(50%)と小テストの結果(50%)によって評価します。

### 8. テキスト・参考文献

テキストは使用しません。必要に応じて参考文献などを適宜紹介します。

### 9. 受講上の留意事項

初回の授業で説明します。授業への主体的な参加を期待します。疑問や不明な点については、遠慮せずに授業などで質問しましょう。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。この授業は金融機関やシンクタンクにおける実務経験を活かして指導します。

## 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。